



SDGs 達成に向けた取組み

園で出る牛乳パックや果物や野菜の皮のアップサイクル



目的・背景

園では1週間に約40～50の牛乳や野菜ジュースのパックが空になり、子どもたちが工作に使ったり、リサイクルに回したりしています。令和5年度、依頼されて牛乳パックと野菜や果物の皮等をアップサイクルして、ネームホルダーを製作したところ、それを見た方から、大阪での学会でも使いたいと要望をいただき、令和6年度も子どもたちが放課後や夏休みに牛乳パックのアップサイクルに取り組むことになりました。園でSDGsに取り組んでいることを知った縫製工場の方からハギレをいただいたり、興味を持ってくださる大人が、一緒に取り組んでくださったりしたことで、子どもたちが思い浮かばなかったものも使って、アップサイクルすることができました。

具体的な取組内容

7月 ピンクと緑の紙と木枠づくり

青年海外協力隊の研修で伊予市を訪れていた方が、園のバザーに来てくださったのをきっかけに、一緒に紙漉きをすることになりました。伊予市特産のビワの葉とアボカドの皮を用意してくださり、紙を漉くと、どちらもピンクの紙ができました。児童クラブのおやつにスイカが出た日、皮を捨てる時に、「スイカの皮で紙を作ろう。」と子どもが思いつき、早速漉いてみると、きめの細かい、きれいな緑の紙ができました。「スイカの実でも作ってみようよ。」と、園庭でできたスイカで挑戦しましたが、いつまでたっても乾かず失敗に終わりました。大阪の大学に試作品を送ると、もう少しサイズを大きくしてほしいと要望があり、木枠を作り直しました。

8月 ナスとシソジュースの色の紙

「紫の紙が作りたいから、ナスの皮を入れてみよう。」と言った子どもがいて、早速入れてみました。紫の紙にはなりませんでした。紫がかった黒い粒々が素敵な紙ができました。「おばあちゃんが作ってくれるシソジュースの色の紙ができたらいいのに。」と取り組み、「おばあちゃんはクエン酸を入れるけどレモンではどうか。」など試行錯誤の末、9月中旬には、縁にシソジュースの色が感じられる紙ができました。

9月 ミカンの葉とコットン入りの紙 ネームホルダー製作 発送

ミカンの葉を入れたり、縫製工場からいただいたハギレを入れたりして、紙漉きを続けました。自分たちで漉いた紙でネームホルダーを製作、紐を通して、大阪の大学に発送しました。

10月 クリスマスマーケットに向けて紙製品のデザイン

5日にエミフル MASAKI で行われた「愛媛の3R フェア」を見学してヒントを得て、新聞紙のエコバッグに手漉き紙を貼ったり、手漉き紙で作った花をつけたりするデザインを考えました。ネームホルダーを作る際の不要になった紙を使って、単語カードも作りました。

11月 紙製品の製作

児童クラブでは宿題の後、製作をしたい子どもが集まっていたりいろいろな紙製品を製作しました。紙が足りなくなったので、紙漉きも追加で行いました。

12月 愛媛大学 SDGs クリスマスマーケットに出店

子どもたちがアップサイクルした手漉き紙製品をクリスマスマーケットに並べて、どのように取り組んだか説明しながら販売しました。新聞紙の紙袋に手漉き紙の花を自由につけるワークショップが好評でした。



クリスマスマーケットの手漉き紙製品



さくら幼稚園の子どもも手伝ったよ



愛媛大学 SDGs クリスマスマーケットに出店



大阪の大学に送ったネームホルダー

成 果

- ① SDGsの活動に興味を持ってくださる大人の方々と交流を持ち、思いを伝えて尊重される経験をした。
- ② 牛乳パックを子どもたちのアイデアで素敵にアップサイクルできた。
- ③ 放課後や長期休みに、子どもたちが主体的にアップサイクルに取り組めた。

周りの大人が、子どもの権利や育ちに関心を持ってくださっていて、子どもに温かく関わってくださり、子どもの発言を尊重してくださいました。子どもの心を育てることにつながったと思います。

また、園でたくさん出る牛乳パックや野菜の皮などに子どもたちのアイデアが加わると、こんな素敵な製品と楽しさが生まれることを実際に体験できました。また、令和5年からずっと続けていることで、大阪の方にも知っていただきました。ラジオの取材に、2年生の男の子が「遠くの方からも注文が来て、喜んでもらえたのがうれしい。」また、「どうして紙でネームホルダーを作っているのですか。」と聞かれ、4年生の女の子が「プラスチックだと赤ちゃんを抱っこした時に顔に傷がつくでしょう。紙なら柔らかいから大丈夫だから。」と答えました。使う人のことを考えて作っていたことに驚きました。

放課後や長期休みに子どもたちが主体的に考え、アイデアを出し、仲間と協力して取り組めたことが成果です。

担当者の思い

今回のアップサイクルの取組みは、実際にネームホルダーを注文され、製作するという経験、手作り紙製品をクリスマスマーケットで販売する経験（つくる責任）を子どもたちと経験できたことが良かったと思います。

今後も継続して、子どもたちが、今の世界の現状に変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力を身につけられるように、SDGsに取り組んでいきたいと思っています。（さくら幼稚園園長 桑波田 みか）